

第3章 計画の目標

第1節 目指す将来像

(1) 目指す将来像（2030ビジョン）

2030年度に本市が目指す将来像（2030ビジョン）を、以下のとおり設定します。

省エネルギーと創エネルギーの両輪で
人と地域の元気を支え続けるまち

これは、温室効果ガス排出量の削減とエネルギーの地産地消を推進することで、地元経済や地域コミュニティが一層の活力を生み出す社会のことを意味します。

(2) 目指す具体的な姿

2030年度の浜田市において、以下の具体的な姿が実現することを目指します。

- ① 省エネ・再生可能エネルギーに配慮した住宅の建築（新築・リフォーム）が進んでいます。
- ② 多くの市民や事業者が省エネを徹底し、環境ビジネスや再生可能エネルギー事業が盛んになっています。
- ③ 低炭素な次世代自動車が普及しています。また、公共交通の利便性が向上し、歩行者や自転車利用者にとって安全・快適なまちになっています。
- ④ 地域住民による発電事業が盛んになり、その収益は地域のまちづくり活動に使われています。
- ⑤ 農林業を元気にする循環型の再生可能エネルギー利用が進んでいます。
- ⑥ エネルギーの自給率が高まり、災害にも強いまちになっています。
- ⑦ 市民一人ひとりのエネルギーに関する理解が深まり、それぞれのエネルギー特性を生かした賢いくらしが実現しています。